

市民活動・虎の巻

研究テーマ 「イメージを具現化するススメ」

与板ゆいプロジェクト

与板地域にイベントの日だけでなく、日常的に「遊びに行きたい!」と思ってもらえる地域にしようと、地域資源である空き空間等をリノベ活用する企画や情報発信などを行っています。今回は、メンバーの想いを具体的なイメージに共有できる方法を三浦大輔さんにお聞きしました。

きっかけ・課題

会議を重ねるものの、各自のやりたいことなどがバラバラで何から手を付けるべきかモヤモヤしていました。ある日、遠方からファンが多く訪れると評判のカフェがあると聞き、調べてみると「旅先には選ばれる街」になっていることを知りました。



視察

栃木県
那須塩原市

メンバーで現地へ。
空き家リノベーションで
魅力あるお店が並び、
人が集まる「通り」になっている!

成果

- 1 古い建材をDIYで活かしたセンスあるデザインが参考になった!
- 2 街の雰囲気を感じることができた!
- 3 皆で同じものを見て話が出来たので、イメージの共有ができた!

今後

空き家リノベーションや人が集まる場所などの参考として良いモデルを見られたので、これを与板地域と照らし合わせ「真似をするのではなく参考にしながら与板の特色を生かした次の一手」を模索していきたいと思います。



メンバー:三浦大輔さん

we can do it!

私たちは

○○ができます!

長岡には様々なノウハウやスキルをもつ市民団体がたくさん!
困りごと、協力してほしいことはありませんか? 私たちが力になりますよ!

団体①

「&mamaつなが」は、
子育て世代のサポートができます!

孤立する育児者を無くすことを目的に講演会やワークショップを企画しています。キッズスペースの見守りや、イベントファシリテート、読み聞かせなど育児関係イベントのサポートができます。

詳細はこちら



団体②

「中越市民防災安全士会 女性部『シュークリーム』」は、
地域防災の困りごとを解決できます!

防災に対する地域住民の意識、技術の向上を目的に女性視点の防災講座を実施しています。災害食講座や防災グッズ、応急手当法の指導のほか、災害時の心・モノの備えについてアドバイスもします。お気軽にご相談ください。

詳細はこちら



information

● センターからのお知らせ ●

ながおか市民活動フェスタ2019
参加団体募集中!

市民活動団体が一堂に会する一大イベント「市民活動フェスタ」を一緒に盛り上げる団体を募集中です。初参加大歓迎! 日頃の活動をPRしたり、つながりを育む絶好の機会です。



【日時】9月7日(土) 【会場】アオーレ長岡全館
【内容】活動紹介ブース、飲食物品販売、音楽やダンスなどのステージイベントなど
【参加料】無料 【申込締切】4月19日(金)
※応募多数の際は調整させていただく場合があります。
※申し込み期日を過ぎてからの申し込みはお受けできませんのでご注意ください。

●お問い合わせ＝ながおか市民活動フェスタ事務局
(ながおか市民協働センター内) TEL 0258-39-2020

申込フォーム



協働センター/

Q&A

よく寄せられる
ご相談

Q. 視察先を紹介してもらえますか?

A. 団体の活動や困りごとをヒアリングした上で、適切な視察先を情報提供します。仲介が可能な場合もありますのでお気軽にご相談ください。

Q. 団体のビジョンを共有、策定するのにお手伝いしてもらえますか?

A. 協働センターではコーディネーターがワークショップを通して、策定・共有のお手伝いをしています。コンサルタントなど専門家に無料相談できる「出前相談」も利用できます。



コライト、見ないと!

コライト

検索

ながおか市民協働センターは、地域をより良くする市民の活動が集まる拠点です。協働センターのwebサイト「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこっでのバックナンバーも閲覧できます。ぜひご覧ください。

らこっマ

2019.4.1
(vol.76)

FREE

【発行】ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail. kyodo-c@ao-re.jp http://nkyod.org

配布場所

長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、
コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

知る、つながる、好きになる ながおか市民活動情報誌

らこっマ

Racotte
vol.76

発行 ● ながおか市民協働センター

2019
4
FREEインタビュー
interview音楽でまちを元気にする
シンガーソングライター

星野信一さん



とにかく前向き! なゴスペルシンガー

片桐晴海さん

●活動PickUp!

- 長岡にこっとくらぶ
- 越路大地の会
- Let'sライフオーガナイズ!
- コンドウ印刷(株)

●市民活動・虎の巻

- 『イメージを具現化するススメ』与板ゆいプロジェクト

●私たちは○○ができます!

- &mamaつなが
- 中越市民防災安全士会 女性部『シュークリーム』

毎週月曜日17時頃から放送中!
つながるラジオFMながおか
80.7MHzながおかの
市民活動紹介番組放送時間 10分程度
第5月曜日を除く



星野 信一さん〈48歳／団体職員〉^{カワロック}KAWAROCK、川口あおり太鼓指導者

川口を音楽のチカラでもっと元気に 自分のためだったことが地域のためにもなる！

「音楽のない人生は考えられない」という星野信一さんは、川口地域で「音楽でまちを元気に」を合言葉にイベント企画や音楽スクールを行うKAWAROCKの代表です。

星野さんが現在の活動を始めたきっかけは、PTA有志バンドの練習を見ていた地域の人から、音楽イベントをやってみないかと誘われたこと。イベント開催に向け出演者を探している、実は川口には音楽好きが実はたくさんいることを知り、KAWAROCKを結成。2016年に活動を始め、3度のイベント企画と、1度のイベント出演を果たし、思わぬ反響に驚いたそうです。「最初は地域おこしか全く頭になく、自分たちが好きなことをやっているだけでした。しかし地域の方から感謝の言葉をいただき、音楽でまちを元気にする可能性を感じました。

星野さんのこだわりは、誰もが気軽に音

楽に触れられる場をつくること。そのため、イベントも音楽スクールも無料で行っています。「今まで音楽を続けてきて、仲間が出来たり、親子の絆が深まったりと、たくさんの喜びを得ました。音楽に触れる機会を提供することで、地域の人にも聴く喜びや表現する喜びを伝えていけたらと思っています」。

今では地域のイベントに引っ張りだこのKAWAROCK。「地域のお年寄りに『フジロックは知らないけどKAWAROCKは知っているぞ!』と言われて笑っちゃいました。でもそれだけ地域の人に自分たちの音楽が届いている証拠なので嬉しかったですね」。音楽活動をすることで、星野さん自身も地域の方々から元気をもらっています。今後は川口地域を飛び出しているイベント開催も検討している星野さん。「これからも細く長く続けるのが目標です」。



●上：昨年11月に開催した「秋フェス2018」。中学から高校までギターを教えてくれた師匠も、一緒に地域を盛り上げる仲間のひとりです。●左下：東京でライブをする星野さん（中央）。好きなシンガーの影響で、ステージではマラカスを多用していたそう。●右下：昨年初めて息子さんとフジロックへ。音楽を通じて息子さんとのコミュニケーションも増えています。



片桐 晴海さん〈56歳／ゴスペルシンガー、コンダクター〉Joyful Spring Gospel Choir

ゴスペルのチカラで元気を届けたい 自分の得意を活かして人の助けにもなれたら

長岡市をはじめ、県内9か所のサークルで講師としてゴスペルを教えている片桐晴海さん。他にも、ゴスペルを唄ってみたいと要望があれば子育て真っ最中のお母さんたちや、高齢者、特別支援学級の生徒たちのもとへ出掛け、積極的に講師を務めてきました。

もともとダンスと歌が好きだった片桐さんがゴスペルと出会ったのは44歳の時。長年仕事にしてきたダンス講師を退職した頃に、知人の影響で習い始めました。聖書からなる思いやり、愛、信頼を綴った歌詞に魅了されたそうです。ゴスペルのとりこになった片桐さんは多くの人に体験してほしいという想いから講師を務める機会が増えていきました。「人からの頼まれごとは断らないというのが、かつてダンスをしていた時の恩師からの教えて、今でも大事にしている言葉なんです」。ゴスペルに関する頼まれごとには二つ返事で受けてきた片桐さん。活動を通し

てゴスペルのチカラを実感しているといいます。「ポジティブな歌詞を大きな声を出して唄うゴスペルはシンプルな行為ですが、歌詞を読んで泣き出すお母さんもいますし、閉会後には晴れ晴れとした顔で会場を後にする参加者も少なくありません。閉鎖的になりがちな現代で、ゴスペルが果たせる役割を感じています」。自分の好きなことを活かして誰かの役に立てることは片桐さんの大きな喜びです。

最近では、オレンジゴスペル実行委員会の新潟メンバーとして子ども虐待防止オレンジリボン運動を啓発するゴスペル全国ツアーをサポート。片桐さん自身、社会課題を身近に感じる機会にもなっています。頼まれごとを通して、多くの出会いと経験を得てきたと同時に、唯一無二な自分らしさを磨いてきた片桐さん。「ゴスペルを通して多様な世界を伝えたい」と、今後にも意欲的。これからもまだまだ輝き続けます。



●上：ゴスペルサークルJoyful Spring Gospel Choirではコンダクターを務めています。●左下：ダンサーとして活躍していた片桐さん。尊敬する恩師の元で得た社会経験の多くが今でも生きているそう。●右下：「実際にやるかどうかは別として、ゴスペルを知らない人がいないまちにしたいです。まずは知ってもらうことから」と、パワフルな歌声を地域に届けています。

profile

- 1970年 旧川口町に生まれる。
- 1984年 ギターを始める。高校卒業後、夢を追いかけてバンドをするため上京。
- 1993年 川口に帰郷し就職。小学生時代の担任と再会。先生の影響で川口あおり太鼓指導を始める。ギターはたまに弾く程度に。
- 2014年 PTA役員メンバーでバンド結成。懐かしい曲のコピーを中心に練習を楽しむ。
- 2016年 KAWAROCKを仲間10名で立ち上げ。月に2回は集まり練習し、オリジナル曲も数曲持つまでに。

活動の根っこ

音楽で
まちを元気に
星野信一

profile

- 1962年 長岡市に生まれる。
- 1981年 服飾専門学校を卒業し縫製会社に就職するも、10代から続けてきたダンスの道へ進む。
- 2006年 ダンス講師退職後、音楽仲間を通じてゴスペルと出会い、習い始める。
- 2011年 オレンジゴスペル実行委員会のメンバーとして、ゴスペルコンサート新潟会場の運営をサポート。2年前からは会場を片桐さんのホームである長岡市に移し開催。
- 2012年 ゴスペル講師となる。

活動の根っこ

感謝
片桐晴海

活動PickUp!

「つながるラジオ」で
取材した団体をご紹介します

生の声は
「ラジオ」
「コライト」で!

長岡

長岡にこっとくらぶ

にこっと安心して暮らせるまちに



アレルギーの子どもを持つ親の情報交換や仲間づくりの場となるおしゃべり会や、アレルギー育児に関する情報発信を行っています。いつ子どもにアレルギー症状がでるか不安を抱えていた方々から、「会を結成し同じ悩みや境遇の方と知り合えたことで、笑顔で育児ができるようになった」と喜んでもらっています。アレルギーを持つ方は災害時には食の要援護者になるので、今後は防災意識も高める活動やアレルギー育児エピソード集の作成などにも取り組んでいきたいです。

長岡

Let'sライフオーガナイズ！ 思考整理からはじまるお片付け

片付けに悩んでいる方に、自分に合った片付け方がある事を知ってもらい、片付けを楽しく、気楽に始めてもらいたいと活動を行っています。いきなりモノを片付けるのではなく、思考の整理から始める片付けを知ってもらうことを大切にしています。メンバーはライフオーガナイザー®の資格を持ち、思考観察から始まるお片付けの方法を用いて月2回お片付けサークルを行っています。



越路

越路大地の会

大地の成り立ちを学び、地域の防災に活かす



大地の会は、「大地のなりたち」を学ぶ地学学習グループです。昭和58年から行っていた「大地から学ぶ越路町のおいたち講座」の終了後、受講者の有志で設立。毎年、野外観察会や講演会を開催し、私たちが生活している大地の成り立ちを地学分野や、さらには先人の生活と文化との関わりから学び、現在は防災の地域づくりにも貢献しています。3月に設立25年の歩みとして、地学ガイドブック「ふるさと長岡の大地」を発行しました。

長岡

コンドウ印刷（株）

企業献血で社会貢献

主にラベルパッケージを作るコンドウ印刷(株)。会社理念の一つに『自然環境への配慮と地域の活力づくりに貢献する』を掲げています。数年前に職員の一人が白血病を患ったことで、「企業献血」の制度を知り、年1回会社の敷地内で献血を行っています。昨年は近隣の企業にも声をかけ、周辺企業とともに企業献血を実施。献血を始めたことで、他者貢献や個人の健康管理など社員の意識も変わってきました。今後も継続して地域の活力づくりに貢献していきます。



みんなの声

投稿
随時募集中

投稿
テーマ

「これも協働!？」暮らしの中で感じた人とのつながり

投稿者
ゼータ
さん

今年の冬は雪が少なく「除雪」という協働がひとつ減ったような感じ。最近、ご近所さんとしていることと言えば「雪が少ないですね〜」って会話をするくらいです。

投稿者
モラル
さん

最近、近所付き合いについて考えています。顔を合わせたときにはあいさつをしたり、自宅の玄関前を掃除するときには、家の前だけでなくせめて両隣ぐらまではきれいに掃除したり。あまりおせっかいが過ぎるのも考えものですが、ちょっとした思いやりを積み重ねることが、ご近所づき合いをスムーズにする秘訣だと思っています。

投稿方法

投稿フォームを使う
協働センター窓口で投稿する

QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
協働センター窓口を設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。

